

【議事録】令和6年度第3回 大田区環境審議会

【開催日時】 令和7年2月4日（火） 午後3時から午後5時まで

【会場】 大田区役所 本庁舎2階 201・202 会議室、Webexによるオンライン併用

【出席委員】

おく まみ	奥 真美	東京都立大学都市環境学部 教授
し しめ ともひろ	志々目 友博	中央大学理工学部 教授
たむら まゆき	田村 昌之	公募区民
あおやま あすか	青山 明日香	公募区民
ちば しげる	千葉 茂	東京商工会議所大田支部
あべ としあき	阿部 敏章	NPO法人 大田・花とみどりのまちづくり
さかの たつろう	坂野 達郎	おおたクールアクション推進連絡会
こやま きみこ	小山 君子	大田区清掃・リサイクル協議会
さかきばら けんじ	榊原 健司	一般財団法人大田区環境公社
たかせ さんとく	高瀬 三徳	まちづくり環境委員会 委員長
かわらだ ひかる	河原田 光	企画経営部 施設整備担当部長
うめざき しゅうじ	梅崎 修二	産業経済部長（代理：産業振興担当係長）
えんとう あきら	遠藤 彰	都市基盤整備部長
やまだ りょうじ	山田 良司	環境清掃部長
いまい けんたろう	今井 健太郎	教育総務部長

（以上、敬称略）

【欠席委員】

しまだ まさみみ	島田 正文	一般社団法人日本公園緑地協会 研究顧問 （兼務 グリーンプランおおた推進会議）
はせがわ のりこ	長谷川 紀子	公募区民
おおかわ ゆかり	大川 由香理	公募区民
やまもと ゆきお	山本 幸男	大田区自治会連合会
にしやま まさと	西山 正人	まちづくり推進部長

【傍聴者】 なし

【関係部局】

施設保全課長、工業振興担当課長、都市計画課長、環境対策課長、清掃事業課長、指導課長

【事務局】

環境計画課長、環境計画課計画推進・温暖化対策担当

【次第】

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) (仮称) 第2次大田区環境基本計画案について
～パブリックコメント実施結果及び環境審議会意見～
 - (2) (仮称) 第2次大田区環境基本計画に係る行動計画について
- 3 その他
 - (1) 令和6年度 答申(案)について
- 4 閉会

【配布資料】

- 本紙 令和6年度第3回大田区環境審議会
- 資料1 (仮称) 第2次大田区環境基本計画素案パブリックコメント結果一覧
- 資料2 (仮称) 第2次大田区環境基本計画案
- 資料3 令和6年度 答申(案)
- 参考資料 (仮称) 第2次大田区環境基本計画に係る行動計画構成案※投影のみ

***** 以下、議事全文*****

【議事】

発言者	発言内容
● 開会に際しての事務連絡・資料確認	
環境計画課長	<p>定刻となりましたので、開催をさせていただきます。</p> <p>令和6年度第3回、大田区環境審議会を開催させていただきます。</p> <p>本日はお忙しい中、また大変お寒い中にもかかわらず、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>私は事務局の環境計画課長の柘木でございます。</p> <p>本日どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>着座にて失礼いたします。</p> <p>それでは開催に際しまして、いくつか事務連絡をさせていただきます。</p> <p>本会議はこの会場と、画面にもございますが Webex によるオンラインでのご参加との併用として開催いたします。</p> <p>オンラインでの参加の方は、通信負荷軽減のため、マイクとカメラはオフにしてください、ご発言のときのみ、オンにさせていただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。</p> <p>本日は、傍聴可能ではございますが、傍聴の方はいらっしゃいませんということを申し上げます。</p>

次に、資料の確認をさせていただきます。

＜資料の確認＞（配布資料：本紙、資料1、資料2、資料3）

本紙 令和6年度第3回大田区環境審議会

資料1 (仮称) 第2次大田区環境基本計画素案パブリックコメント結果一覧

資料2 (仮称) 第2次大田区環境基本計画案

資料3 令和6年度 答申(案)

参考資料 (仮称) 第2次大田区環境基本計画に係る行動計画構成案※投影のみ

以上、5種類です。

なお、参考資料は投影のみのため、後ほど投影をさせていただきます。

資料に不足がある場合には、事務局までお声かけください。

なお、本日の開催にあたりまして4名の方がご都合により欠席でございます。

【欠席委員】

島田 正文 一般社団法人日本公園緑地協会 研究顧問
(兼務 グリーンプランおおた推進会議)

長谷川 紀子 公募区民

大川 由香理 公募区民

山本 幸男 大田区自治会連合会

それでは次第の1に入らせていただきます。

冒頭に会長からご挨拶をちょうだいしたいと思います。

よろしく願い申し上げます。

● 【次第1 開会】

奥会長

皆様こんにちは。

本日、令和6年度の第3回になります。

前回の環境審議会におきましては環境基本計画の素案について、皆様からご意見いただきました。

そちらを踏まえ、そしてパブコメをされたということで、パブコメの結果も踏まえて、本日のお手元に計画案が配られております。

オンラインでご参加の皆様にもお手元にあるかと思っております。

環境基本計画の案ということで、事務局のほうでまとめていただいております。

本日はこちらの内容について最終的にご確認いただきたいと思っております。

今年度、区長から諮問を受けました事項に対する答申案を取りまとめていきたいというふうに考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします

環境計画課長

ありがとうございました。

	<p>これより、議事進行を奥会長と交代させていただきます。 奥会長、よろしくお願いいたします。</p>
奥会長	<p>では、ここから私の方で進行を務めさせていただきます。 本日は議題が2つ、そしてその他1件ということになっております。 事務局からご説明いただいた後で、委員の皆様からご意見等をちょうだいしたいというふうに考えております。 では事務局から、これは事務局のほうで議題の(1)(仮称)第2次大田区環境基本計画案について、パブリックコメント実施結果及び環境審議会意見への対応ということでご説明お願いいたします。</p>
<p>● 【次第2 議題】(1)(仮称)第2次大田区環境基本計画案について ～パブリックコメント実施結果及び環境審議会意見～</p>	
事務局	<p>はい、事務局でございます。 担当係長の西山でございます。 着席にて説明させていただきます。 まず資料のほうは、引き続きこちら本紙の3ページとなります。 内容は議題1として、第2次環境基本計画案についてということで、パブコメの実施結果と、あと前回の審議会でいただいた主なご意見のところですよ。 そちらのほうのご紹介をさせていただきます、それが素案本編のほうで、どういう形で、反映させていただいたかというところを確認させていただく時間とさせていただきます。 会長のご案内にもありました通り、修正箇所の記載内容について、本日確定とさせていただきます。 なお表現とか用語のゆれとか、あとグラフとか、少し調整しなければいけないところもあります。 その辺の細かなところについては、本日の内容確定後にまとめて、整備するように考えていまして、まだ表紙とか、あとがきとかはつけてございません。 これからデザインして、つけるような形の予定にはなっております。 公表は4月1日のタイミングになります。 それでは早速ですが、まず、3ページ目となります。 画面のほうも3ページ目が出ているかと思えます。 まず、パブリックコメントの実施結果については、去年の12月16日から年明けの1月10日まで、約4週間までではないですけど、3週間強として募集いたしました。 パブコメにあたっては、前回ご案内の通りです。 アニメ動画を制作いたしましたので、それもお覧いただきながら、意見をいただくというようなことにしております。 アニメ動画については画面のキャプチャーが出ていますけれども、動画の視聴回数は138回で、意見の提出件数としては6件となっております。 主な意見の要旨は、資料右側の6つで挙げさせていただいております。</p>

本日、細かな内容は言及しませんが、後でご確認いただければと思います。
内容としてはパブコメの期間が短いとか、あるいはもう具体の施策について、これをやってはというようところが主なものでした。

パブコメの期間については、要綱のほうでパブコメの要綱がございまして、区の共通の要綱で概ね3週間ということになっていて、今回年末年始を挟んでいますが、4週間近くと、規定の通り、実施させていただいたというところです。

環境学習施設とか、あと市民参加型の気候会議、そういうような具体のご提案を頂いております。

以前より具体については、基本計画で謳うというよりは、行動計画の中で具体化してきちんと事業を企画した上で、実施して行くか行かないかというところの判断になっております。

はい、以上がパブコメの実施結果の報告でございます。

次に、4ページ目になります。

こちらは、前回の12月の環境審議会でもいただいた主なご意見になりますけれども、それに対して、素案のほうでどういうふうな反映をさせていただいたかというところを確認いただければと思います。

はい、順番にいきますけれども、まず1つ目ですが、素案は会場の皆さんの手元にございますか。

横の冊子の素案というところになりますけれども、修正点を記載しております。

そちらと比較しながら、ご案内させていただきます。

まず10ページ目ですけれども。

こちらのパートナーシップについてのこの絵の部分です。

修正したのは右側の絵の部分ですけれども、この円の大きさや色を逆にしました。

パートナーシップのところの繋がりがわかりにくいというようなご指摘でしたので、これは実は、13ページの形にするために、わざわざ分解しているものですが、この分解したものが、13ページの形になるというような繋がりで、これは伏線を貼っておいてということでしたけれども、もうちょっとわかりやすいように、13ページの絵に近くなるように調整し直しました。

次、12ページと22ページということになりますけれども。

計画の位置付けの中に、結果的に行動計画の部分を、こういう基本的事項や、あと22ページのほうにも記載したほうがわかりやすいのではないかと、12ページについては、左下の図の第2次大田区環境基本計画の一番下のところに行動計画（年次）ということで、記載させていただいております。

あと22ページについては、計画の進行管理というところになるのですが、こちらのについてもこの行動計画の中身がわからないところもありましたので、今、赤いところ、なお書きの以下の部分に説明文として記載しております。

行動計画の中に、実績も変えていくようなことで作るように考えています。

また議題2の方で、そのようなことがちょっとわかりづらいという意見もござい

ましたので、この部分にも、実績報告と記載をさせていただいております。

次に3番目として、13ページに戻りまして、右下の好循環、環境・生活・経済、暮らしの質の向上というこの絵がありますけれども、これだけだと、前回、説明不足というところがありましたので、その横に赤い部分を、環境配慮行動や環境問題への対策は制約やコストではなくて、資源循環や技術革新などの機会となるだけでなく、持続可能な未来へと繋がっていく、区内のあらゆる営みの基盤となる環境です。

あと、区民が日々暮らす「生活」、区内の事業活動が回す「経済」、三者が調和し、一方の向上が他方の向上を引き出すような好循環が、暮らしの質の向上をもたらす未来を目指しますというような説明書きを入れました。

この説明書きは次の指標の部分にも繋がっていく話で環境・生活・経済、資料では説明書きに主な意見の欄がかぶってみえませんが、その部分と対応させるような説明にしました。

次の14ページになりますけれども、こちらは指標ですね、指標関係を整理したものです前回までは調整中というのが、結構ありましたが、今回は数字も入れ、お示ししました。

またご意見とか、その辺いただければ、ちょっと変わってしまいますけれども調整する余地はあると思っております。

主な意見としてのところから順に行きますけれども、省エネ行動に取り組む区民の割合をふやすためには子供たちへの普及啓発が、重要ではないかというところ、これは指標のほうに関連した話で、こちらは行動計画で、具体的に子供たちへの環境学習とか、そういった部分で検討と考えています。

次に、②みどり率と緑被率ですね。

緑被率が、区のほうのグリーンプランのほうで、指標となっているところ、そちらも加えて欲しいというところは、前回、みどり率と緑被率を併記してというようにお話もさせていただいたところで、併記するとなかなかどっちが大切だとなるので、みどり率と緑被率は併記し括弧で参考という形で表示をさせていただいております。

緑被率のほうは、グリーンプランでしっかりと、進捗管理を行っているところです。

次に③です。

環境に配慮した経営する企業の割合、中小の事業者の取り組みというのがなかなか達成するのは難しいのではないかというところのご意見、島田副会長からもいただきまして、先日、島田副会長とも調整しこれに代わる指標というのがなかなか見当たらない、また大田区として地方自治体として、やはり中小事業者の対策というのが、メインの部分になってきますので指標はこのままというところでさせていただきます。

必要によって大企業さんもいろいろ取り組んでいらっしゃるもので、そちらの方は行動計画のほうで、こういうものがあるというのをご紹介ができればと思います。

次に④です。

生活環境の指標についてKPIとの関連性の中で繋がりを示してはどうかという確かにこちらは志々目副会長からのご意見で脱炭素と自然再興と循環経済の中ではなかなかこう表現しづらいところもあったので、この中には置き込めるところはなく、行動計画の中で、事業の評価とか施策の進捗状況とかの部分で、事業の活動状況とともに評価して、特にここで1つの指標を加えるということにはございません。

次が16ページから19ページは、活動シーンごとの具体のその取り組みの方向性になっているかと思います。

まず、16ページです。

この取り組みの方向性に基づく具体的な取り組みの記載や行動計画との関連性を示してはどうかというところで、実際この計画は、区ももちろんそうですが、区民の皆様とか、事業者の皆様と一緒に取り組んでいく計画だというところで、主語はみんなというところで、ご説明したところで、区の役割もしっかりこの中にも入れていくというところで、赤い部分で区民・事業者・区というふうにして、行動計画の中では実際に区による率先行動として一緒にやっていくというところで、ご理解はいただきたいです。

次が18ページになります。

こちら生物多様性の取り組みについて、もっとわかりやすい表現にしてはどうかというところで、そんなに詳しくは書いてないですけども、さきほどのお話の区というのを入れた赤い部分です。

少しだけ具体的などころで、記載させていただいております。

続きまして19ページとなります。

こちらは3R・リニューアブルに加えて、リペア・メンテナンス・シェアリングに関する概念に触れてはどうか。

あと、サーキュラーエコノミーの具体的な取り組みについても踏み込んでと、坂野の先生からも、メールとか詳しい内容を頂きました。サーキュラーエコノミーという部分で、書ききれない部分はあったという反省もございませう。ここで書ききれない部分もありますので、やはり具体のいろいろな区内企業の取り組みもありますので、そちらの部分についても、行動計画の中で具体的に示していければなどというふうに思います。

次が最後になります。23ページ、最後の部分になります。

こちらは図がわかりにくいというご意見をうけて、少し調整しております。

2025年がこの計画のスタートになるのかがうまく表現しきれいかなかったかなというのがございました

あと2050年に向けてのところでご意見がございまして、2025、2030、2050というバーがあると思うんですけども、そこの2025というところの下に第2次環境基本計画を付け加えて、これの矢印が2030年度までというのを 施策の取り組みの方向性のところにささいですが修正しました。

	<p>あと、その真ん中の脱炭素社会への移行、自然再興の取組とかの国の表現も、何かこれが最終的な目標みたいに見えたので、あくまでも目標はその横に線を出して示させていただいて、温室効果ガス実質ゼロとかの、最終的な目標はこれを通じて、持続可能な環境先進都市おおたを実現するという話ですので、ここには大きくは変えず、線をいれたり、若干位置を調整したりしています。</p> <p>まず議題の1番目は以上となります。</p> <p>指標とか今回、お示ししている部分もごさいます。</p> <p>まだ、なかなかわかりにくいという部分もあるかもしれませんが、ご意見いただければと思います。</p> <p>以上でございませう。</p>
<p>奥会長</p>	<p>はい、ご説明ありがとうございました。</p> <p>ただいまパブリックコメントの結果、そして環境審議会で前回出されました意見を踏まえての、環境基本計画案の修正版についてご説明いただきました。</p> <p>何かお気づきの点があれば、いただければと思ひますがいかがでしょうか。</p> <p>はい。坂野委員、どうぞ。</p>
<p>坂野委員</p>	<p>修正していただいたところで、これ以上の修正していただくところはなく、とてもいいものができたと思ひます。</p> <p>私が前回少し気になったのは、1つで循環型経済のイメージとして、物をできるかぎり使い捨てしてしない、もう使えものはできるだけ資源化するという書き方になっていて、循環型経済それから新しい価値を生み出すってということがメインに出したほうがよかったかなと思ひたのですけれども、その点については、行動計画で取り組んでいただけるとのことので、ぜひそうしていただければと思ひます。</p> <p>何でそんなことを言ったのか、前回出ていなかったのですが、行動計画の中につながっていく中で考え整理していただければいいのかなと思ひます。</p> <p>循環型経済が何か自体についてはまだ概念が整理されてないのかなっていう気がする。</p> <p>区で脱炭素戦略を作っているのので、その脱炭素はよくわかってきていると思ひのですが、やっぱり循環型経済ってことについては、何かまだまだわからないところがあって、それはぜひ共有しておいたほうがいいのかなとおもっています。</p> <p>実際、クールアクションに賛同している事業者の方にいろんな事例を聞くと、様々な形で、大田区の企業は循環型経済に寄与しているところがあって、最も大きなところでは、リーテムさんが電子機器から金属を取り出すことをちゃんとしっかり自分たちの事業としてされていたり、産業部門の方々が HICITY 中で新しい事業のインキュベーションみたいなことをやられていて、その中でペットボトルからナノファイバーをつくらたりとかですね。</p> <p>あるいは、野菜くずを乾燥させて、コンクリートのより硬い建材を作っているとかですね。</p> <p>あるいは、古着を集めて、新しいファッションに変えていくとか何かそういうアップ</p>

	<p>サイクルをしたり、最近ではSAFの供給体制の構築も区がコーディネートされているというような話があるので、こう考えると、様々な形で付加価値をつけるさまざまな取組が行われていて、ぜひ、行動計画を作るときにどういうものが循環型経済になるのか整理して、それを産業セクションですとか、あるいは区内事業者に共有して、その共有されると、区内の産業実態が見えてきて、それが見えてくると、大田区産業セクターは、かなりシュリンクしてきていますね。中期的に、そういう中で、循環型経済っていうのがわかってきたりするのかなと気がします。</p> <p>ちょっと長くなりましたけれども、そういうことをぜひ、行動計画の中で考えられるといいかなと思います。</p> <p>もう1つは、これは、今回改めて、パブリックコメント読ませていただいて、ちょっと気になったのは、市民参加、いろんな市民運動とか、環境活動をされているグループの方がいるので、その方たちの声が反映されていないではないかということちょっと気になっていて、この辺もぜひ、地域の特徴を反映するというので次の行動計画で検討頂ければと思います。パートナーシップということでしょうかね。</p> <p>そこでぜひ、環境意識の高い市民グループの方と、その地域ごとに地域特性が違いますので、地域ごとの特徴を何かパートナーシップのところ、行動計画の中で何かつなげていけばいいのかなというところです。</p> <p>報告書の内容というよりは、今後の話に関して意見です。</p> <p>以上です。</p>
<p>奥会長</p>	<p>はい、ご意見ありがとうございます。</p> <p>最初のご指摘については、特に13ページ、計画案の13ページのところに関わるご指摘だと思いますけれども、循環型社会とか循環経済といったときに単に資源循環を図ることだけではなくて、新たな技術やイノベーションを、引き出すとか、もしくは、その付加価値のある商品を生み出すとか、そういった、さらにプラスの効果を伴う、そういう経済に移行していく。</p> <p>ということがもう少しわかるように意識して、行動計画を作っていたきたいというご意見ではありましたけれども、13ページで、そこをもう少し表現できるかなといいますか、多分この脚注の※3に、それが書いてあるのですが、新たな付加価値を生み出していくというふうに書いてありますが、ちょっと余りにも小さくて、脚注で書くというよりは、やっぱり本文の中に赤字で文章を加えて上手く表現していただいたほうがいいのかもしいかなと、今ご意見を伺って思いました。</p> <p>意味するところを、もう少しうまく表現していただくということでよろしいでしょうか。坂野委員、最初のご指摘については、13ページのほうで事務局にご検討いただくようにしたいと思いますが、他の皆様も、よろしいでしょうか。</p> <p>(一同承諾)</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>2点目のご指摘について、パートナーシップをこの計画の中にも、うたわれてはいますが、ただ確かにパブコメの結果を見ますと6件ということで、これは何名の方が</p>

	<p>意見出されたのか。</p> <p>1名の方から6件ということで、確かに大田区内には、環境活動されている団体もいらっしゃるし、ここに委員として出てきている方たちとともに活動される方いらっしゃる中で、ちょっとこのパブコメ結果は、寂しいなという感じではあります。</p> <p>もう少し、区のほうからも、お声がけいただいて、今後、行動計画策定していくにあたっては、より幅広く意見をとと思います。</p>
環境計画課長	<p>パブコメ結果の件数は、6件で人数は1名でした。</p> <p>これ以外にも、私どもは次代を担う子供たちの意見も必要と考えていて、2月3日から2週間の期間をかけて、教育委員会と連携して子どもたちのタブレットを活用したアンケートを実施しているところです。</p> <p>朝、タブレット立ち上げますとそこにスタートアップで画面が出てきまして、私どもで作成した3分間動画を見て回答していただきます。</p> <p>小中学生を対象にした環境に関しての質問と自由意見欄を設けまして、環境に関心があって子どもたちから、大人では気づかない貴重な意見をいただけるのではと思っています。</p> <p>まだ締め切りがきていませんが、そのような取組を実施しています。</p>
奥会長	<p>他はいかがでしょうか。</p> <p>ご意見等ございましたら、お願いいたします。</p>
志々目副会長	<p>大変コンパクトにまとめていただきまして、ありがとうございます。</p> <p>私は計画自体について意見はありません。</p> <p>昨年の審議会のときに申し上げましたが、大田区の基本構想とか、あるいはSDGsの推進のいろんな取り組みをされていることを私もホームページでいろいろ確認させていただきました。中には奥会長も参加されているものもあるようでございますが、非常に良い取り組みがたくさん入っております。</p> <p>ぜひ、次の行動計画をつくるときに、それらのリンク先をご紹介ただいただけでもいいかと思しますので、委員の方々にはそのあたりを少し周知していただきたいと思えます。</p> <p>私が見た限りでは基本構想の答申のほうが、より具体的に書いてあるものもありました。その辺を少し踏まえたらよかったかなというのが、正直な感想であります。</p> <p>それと、あともう1つ、12ページの先ほどの目標のところになります。これ自体について特に意見はありませんが、この数値を設定する以上は、この根拠をどういうふう考えたのかということ、対外的に説明できるようにしておくことが重要です。様々な人から問われたときに、非常に重要な目標になっていくかと思しますので、その辺はしっかりと事務局のほうで、今後説明ぶりを考えていただいたほうがいいのかというのが2点目でございます。</p> <p>中には現状の最新値も大幅に変わっている指標もあります。</p> <p>その辺は、なぜ変わったのかなとちょっと個人的には疑問を持ったところがございます。</p>

	<p>こういうところに少し留意していただきたいと思います。今後は行動計画の中で、より具体的なもの、先ほど坂野委員がご指摘された点ですが、SDGsの中でも持続可能な航空燃料に関する非常に先進的な取り組みを大田区ではされているようであります。これは国内外で非常に重要な問題になっておりますので、そういうものを行動計画の中にしっかりと位置付けていくということを今後の課題として取り組んでいただくと、ありがたいと思いました。</p> <p>以上でございます。</p>
奥会長	今、2点いただきましたけれども、事務局からいかがですか。
事務局	<p>指標のところ、先ほど失念しており、補足させていただきます。</p> <p>最新値が変わったところは、間違いや他と調整したりとかしている部分で、小数点の表示などでいろいろ調整をさせていただいております。</p> <p>これについては、また別途説明をまとめてさせていただこうと考えたところです。</p>
志々目副会長	いえ、そういう意図ではなくしっかり説明できるように、そういう準備をしておいていただきたいなということでございます。
事務局	<p>あと目標値の根拠のところですが、脱炭素関係は令和5年に策定した脱炭素戦略とか、その辺のことを、カーボンニュートラルとかカーボンハーフというところで設定しています。</p> <p>あと他の部分につきましては、2050年度を例えば100%として、バックキャストिंगによって、大体2030年度にこれぐらいだろうと、あるいはちょっと低く過ぎたり高過ぎたりするのは少し調整しています。大体、基本的な考え方としてはそのようなバックキャストिंगで算出しています。以上です。</p>
奥会長	<p>先ほど、志々目副会長がおっしゃったように、なぜこの指標なのか、そしてなぜこの目標値なのか、そこはしっかりとその根拠を持って説明できるような準備をしっかりとっておいてくださいということと、それは行動計画の中でもお示しいただくということ、しっかりやっていただければと思います。</p> <p>本来はここで説明しないといけないですけれども。</p> <p>あとはもう1点、区の基本構想や基本計画の方で、指標として位置付けられている環境分野に関わるものについては、もれなくしっかりこちらでも引き受けるという形で、そこは改めて確認をしていただけますでしょうか。</p>
事務局	基本構想、基本計画の部分につきましても、我々担当レベルでも、数字とかその辺を確認しながら、齟齬のないような形で策定に努めています。
奥会長	はい、志々目副会長よろしいでしょうか。
志々目副会長	今後説明できるように、よろしく申し上げます。
奥会長	<p>他はいかがですか。</p> <p>オンラインでご出席の方よろしいでしょうか。</p> <p>議題1につきましてはよろしければ、では、先ほども幾つかご指摘いただいたことを踏まえまして、さらにちょっとブラッシュアップしていただく必要があるところ出てきましたので、そこは事務局のほうに、作業をお願いしたいと思います。</p>

	<p>その結果については、また後日ご確認いただくということになりますね。</p> <p>その際に、また追加でお気づきのことなどございましたら、ご指摘いただきたいと思います。よろしくお願いいいたします。</p> <p>では次の議題に移らせていただきます。</p> <p>議題の2になりますが、(仮称)第2次大田区環境基本計画に係る行動計画についてです。</p> <p>事務局からご説明お願いいいたします。</p>
<p>● 【次第2 議題】(2) (仮称)第2次大田区環境基本計画に係る行動計画について</p>	
<p>事務局</p>	<p>はい事務局です。</p> <p>それでは、議題2というところで先ほどから話あります行動計画について、資料につきましては今画面に出ているところの本紙の5ページにあたります。</p> <p>こちらは夏でしたかね前々回の環境審議会は書面開催となりましたけど、それをもとに説明を繰り返しさせていただいております。</p> <p>ご案内の通り、今回の第2次大田区環境基本計画というのは、基本計画部分と、あと年次で回す環境等の行動計画の2階建てとしております。</p> <p>環境基本計画のほうでは達成度評価、どれだけ目標に近づいているか、ちょうど先ほどの14ページです。</p> <p>指標のところ、まず、それにたいしてどれくらい届いているかというところを評価していく。</p> <p>行動計画のほうでは、毎年いろんな取り組み、いろんな事業ありまして、そこの活動量の評価していくという考え方なので基本計画ではどれだけ目標に近づいているかということ、行動計画については、どれだけパフォーマンスを発揮しているかというところを図っていくというような考え方でこの行動計画のその評価の仕方も、各事業について、事業単位で計画面と実行面の2軸で評価していくというふうな考え方をして、次の図としては右側の計画面として事業設計がどうなっているかというところを評価していくので、こちらは加点式です。</p> <p>こういう項目に該当すれば、1点なり2点なりを入れていくよというような考え方にしております。</p> <p>項目として、これは3月中には固めたいと思っています。</p> <p>今のところ想定しているのは、ターゲットとか、規模とか範囲、ニーズや地域性とか独自性とか、効率性とかパートナーシップというようなところで、実際の例えばターゲットだと、ねらいとしている層がちゃんと明確であるのかとか、あと参加者が固定化し陳腐化していないかとか、その辺をちゃんとクリアすれば2点ですよとか。</p> <p>規模範囲とかはその対象とする人数回数は十分、あと適正であるかとかいうと、広範囲への波及影響とか波及ですね。</p> <p>それが期待できるというようなものなのか、ニーズはニーズで、こちらの区民とかあと事業者様とかの要望や地域性というお話もパブコメのところであり、大田区でいろんな東京の模式図みたいに関係する地域がありますので、その地域性とかがちゃんとした</p>

課題をとらえているかのようなところも評価はちゃんととらえているのであれば、1点なりで3点なり、入れるというようなところですよ。

ここに、たとえば独自性として他自治体と同様の事業なのか、先見性とか優位性とか、大田区らしさのその辺のこともあれば、そこに点をつけて、効率性やオペレーションとか、あとコストコントロール面という、の効率性を追求する工夫がちゃんとされているか。

パートナーシップとかトレンドとか新規性当然、その辺のところ、チェックですね、チェックをつける形で評価をしていくことをやった上で、次の縦軸のほうの実行面になっていく。

こちらはKPIを設定して、目標等にどれだけ近づいているか或いは超えているかというところで、もちろんいい実績が上がっていけば、上のほうになるので、この図では、右方向に行くのが望ましい事業だろうということも考えられると思います。

事業の1つの点が、施策内の取り組みの方向性の中、例えば、クラス働くだと、環境配慮型ライフスタイルの転換という中で、この図がどういう状況になって、次の年にどうやっていくのかってところが、動機づけられていくのかなというようなので、今までと違うのは、これ行動計画なので、例えば事業評価でAでしたBでしたみたいな評価ではなくて、Aでよかったね、Bでよかったね、Cではだめだよみたいな話ではなくて、こういう分布状況になっているので、その施策の中で、どういうところに力を入れていくか、どういうところを実績に上げていくかっていうような、次の方向性に向かっていくような考え方で行動計画のほうでは評価していきたいというふうに思います。

これが本紙の方です。

もうひとつ資料を用意してまして、こちらは事前に配布せず、今回投影だけにさせていただきますというの、役所の場合、これから第1回定例議会で始まりまして、予算のこととか、あと来週は予算案プレス発表があるので、その先になっちゃうので、この部分についてはちょっと紙に残る形、データが残る形では、今回はちょっと勘弁していただきたいなというところで、これはイメージとして今、頭の中でイメージして書きたいなというところで作ったものです。

実際これ事業がいっぱい入ってくるので、かなりのページ数にはなると思います。

簡単などころでご紹介イメージとしてはこういう形で、行動計画で、例えばこれだと、2025年度1年間というところで、管理していきます。

次のページです。

はい、画面を会長の方は見づらいかなと思いますが、こちらが今想定している作りつつある行動計画の取り組みと、その中にあります各事業の体系図みたいなものです。

左側の青の部分が、環境基本計画の部分で、この中に、施策、取り組みの方向性という以前よりご案内の通り、「くらす・はたらく」とか、「はこぶ」とか、「ともにいきる」とかいう中にそれぞれの取り組みの方向性施策があります。

例えばその環境配慮型ライフスタイルへの転換ってというような、取り組みの方向性、がありまして、もっと詳しく説明すると行動計画の取り組みの中だと区民の行動変容の

促進とか事業者の行動変容の促進、右側に行きますけれども、そのような取り組みがあります。その取り組みの1つの塊の中に、各事業、具体的な何々事業みたいな、何々イベントみたいな形が入ってくるというようなイメージで、吹き出しになっている部分の表現です。

これは次のページから、具体的にはこういうような形になりますというのを想定しています。

例えば「くらす・はたらく」の中で、環境配慮型ライフスタイルへの転換というところの中には、丸角の四角で、区民の行動変容の図、とか、事業者の行動変容の促進というような取り組みの中に、例えば子供環境教室、とか区民運動おたクールアクション推進連絡会とか、それぞれの、事業が入ってくるイメージです。

これは今、仮置のしている部分で、少しレベル感とかは合わせるような形になるかなと、例えば脱炭素まちづくりの推進、特に、基本計画の中で具体的に触れてはいたのですが、例えば再生可能エネルギーの導入拡大とか、区が今やっているペロブスカイトの事業とかも、一部やっておりますし、あと、J-クレジットを使ったエネファーム、家庭用燃料電池とかの導入とかもやっております。

あと、区による率先行動としても、基本計画の中で具体的に、何をやっていますとは書いてないです。例えば再エネを、調達していくということとか、先進的な省エネの仕組みとか、システムとかも入れておりますので、あと、業務用の高効率の燃料電池とか庁有車の取組とかで、これは具体的にこの事業に入ってきます。

次のページです。

次も同じような形で例えば健やかで快適な暮らしの実現というところを今まで喫煙の対策とか、美化のこととか、騒音振動とか、生活環境の部分もここで入れ込んでいきます。

次の下側の「はこぶ」というところではEVカーシェアリングとかも、うちのほうでやっているの、そういうようなところとか、あとコミュニティバスのEV化とか、そういうようなところも入ってきます。

次のページです。

この辺は駆け足になりますが、「ともにいきる」というところは、緑や生物多様性というところで力を入れていきますし、おたグリーンプランとの連携もしていきます。

次のページです。

次が「つくる・つかう・すてる」という部分で、さきほどサーキュラーエコノミーというお話の中で、区の方も何もやってないわけではなく、民間企業とか、事業者さんと連携しながらいろんな取り組みをやっております。

具体的にはボトル to ボトルとか、あと SAF などに、しっかり取り組んでおります。

こちら、行動計画のほうで、ただ基本計画の中ではこういう個々の取組は実証的なところもあって、ポツポツといろいろ種をまいて、基本計画の中で指標を示していつまでに何をやるみたいなどころまでではないですが着実にこの辺は、区のほうでもやっていきたいと考えています。

次のページです。

こちらが施策の評価のページになってきます。

例えば、サンプルでお作りしているところです。

こちらは「くらす・はたらく」の施策の取り組みの方向性としては環境配慮型ライフスタイルへの転換というページで、こちらについて、ページのつくりとしては取り組みの中で、例えば、区民の行動変容の促進という取組の中で、事業がいくつかあります。

先ほど四角の中に、そちらのほうを列記して、活動量があるものについては活動量をきちんと変えていくというところで、こちらの実績については、過去3年間をひろっていくことを考えています。

今、現在だと、令和6年度ですので、令和3・4・5年と、次回の審議会は夏になると思いますので、こちらは実績というところと、目標であるKPIをたてていくのを考えております。

横の事業設計というところは、さっき少しご説明させていただいているところで、規模とかニーズとか地域性とかその辺のことをここで示していこうかなと考えています。

評価の部分が、一番右上の部分になり、横軸がポイントで10点満点にしています。

いくつか評価のポイントをつけながら、点数をつけて10点満点で表し、いろんなアピールポイントとか、すぐれたその事業設計であれば、点が右側に動いていき、実績の部分が縦軸になっていく。

けれども、今赤い部分ゼロとなっているところが目標です。

目標に対して何%足りないのかと、何%超えているという部分が、縦の動きなので、もちろんすぐれた事業で、事業設計されているいろんなこと考えられてというところで、きちんとそれも実績を上げていけば、右上に行くわけです。

この環境配慮型ライフスタイルの転換という、取り組みの方向性の施策の中が、今、こういう状況で仮に置いている点などで、これは実際ではなく、これがだんだん右上のほうに持っていけば、よいパフォーマンスを発揮しているというような評価になってきます。

次のページです。

先ほど、事業の部分で、事業のあらまし、目的とか概要とか、前年度の実績になってきます。

あと、もうちょっと下に行くとか沿革とかがあり、事業がいつ始まったかとかどういう関連と、これが1つの事業についての観点みたいなイメージを持っていただければよいと考えています。

今まで「大田区の環境」という形で冊子をまとめたのですが、その実績の部分は大田区の環境に書いていたような実績、あるいはレベル感を合わせて、庁内の事業を説明するような文章があるので、レベル感をそろえながら、実績のところを、同じような形式でまとめていこうと考えています。

これが実際の実績報告の詳しい部分で、評価はアウトプットがでた評価と別にまた詳しい部分を、書いていくということです。

はい、次のページです。

このようにいろんな事業ごとに、こういうような行動計画をつくっていき、これをどうやってまわしていくのかっていうところを、あらわしたものです。

この計画による進行管理の流れで上が環境基本計画で、下が行動計画を表しています。

繰り返しになりますが、環境基本計画は、KGI、どこまで目標に近づいているかというところを示しているところです。

ここで言うと、例えば環境・生活・経済の指標でありましたけれども、その指標に向かってどれだけ近づいているかというところを見ていき、もちろん行動計画の中でその数字を表していく、環境基本計画にはこの後どんどん数字入れているわけではないのでというところで、KGIは基本計画部分というところでやっていきます。

その中に活動シーンというのがあって施策の取り組みの方向性がある、取り組みの方向性というのは今ご説明したようなその活動状況によって評価していきますというので、活動状況を見てどこまで近づいているかというところをこう見ていくというような、あと行動計画の下の部分の行動計画になりますけども、これが取り組みの中に事業があって、事業の中には複数アウトプットがあってその活動というのを把握しているのがKPIであるキーパフォーマンスインジケータです。

パフォーマンスの部分で何がどれだけこうくるくるまわっているかというのを行動計画の中で、管理していくと考えています。

これを毎年やっていく、2024年度の0年度から次の1年目、2年目、3年目というふうに、どういうふうにまわしていくかという、今回は、最初の年なので、大田区の環境をベースに区役所の中で、事業説明や評価するシートがあり、それと2度手間3度手間にならないように、できるだけ1つに集約して、それを行動計画にしていこうかなというところで、大田区の環境を行動計画へ移行するところを今やっているところです。

これについて、一旦大田区の環境をもとに新年度予算の事業も加えて、来年度になってから、行動計画を一旦公表させていただくというところで、次の夏の審議会は何をやるか言うと、その6年度までの実績をもとに、今作っている行動計画に実績を入れて、先ほどから説明しているような評価を行います。

そこで、審議会でいろいろご意見をいただいて、夏なので、区役所では予算編成も、要求も同時に進んでいますので、その話も加えながら、次の年に向かって、今度は行動計画2026に向かって、作っていくというようなところです。

それをまた年度末に発表できるかと思うでも、当審議会、行動計画として皆さんに、2025年度の実績を入れたものを、夏に報告して、またそこでいろいろ、というのはこれをぐるぐる、繰り返していくというようなことをイメージして環境基本計画を30年度までやるっていうようなところで、多分、この間に時代も、6年あれば、それなりに変わると思うので、その時代の動きもいろいろとらえ、行動計画、事業を磨いていくというような、そういう考え方で、使うというところです。

	<p>行動計画については以上となります。</p>
奥会長	<p>投影して説明していただいた資料で、イメージは大体掴めたかなと思いますけれども、ご意見等ございましたらお願いしたいと思います。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ千葉委員。</p>
千葉委員	<p>今、話を聞いていて思ったんですけど、また元へ戻るようなことにも繋がるのかなと思うんですけども、それぞれの施策のところ、KPI にできるものとできなさそうなものがある、これ例えば、「健やかで快適な暮らしの実現」というのはKPIにはできませんよね。</p> <p>KGI はできるかもしれないですけど、あそこへたどり着く道筋は非常に、確かではないものになる可能性が高いですよ。</p> <p>だからこれが、たばこの問題もありますけど、やっぱり何かもう少し評価できるような形にするべきじゃないのかなということのを思いました。</p> <p>それから私は大田区の蒲田の駅前で働いていますが、ごみがひどいんですよ。</p> <p>これは、外国人の方々が、わりとその原因になっていて、それで町内会でもなかなかそれに対して指導ができないとかいうので、この快適な暮らしの実現というところには、外国人の方々が最近増えてきているので、そういう方々に対するケアも必要になってくると思いました。</p> <p>それから、「環境にやさしい」というのも、これも指標にはできないので、もし本気で2030年までに改善を図っていくということで、環境負荷の少ない移動、輸送手段を確立するとか、そういうような形にしたほうが、実現に向けての道筋は見えやすいのかなという感じがしました。</p> <p>それ以外のところは、ごみを排出しないとか、資源の再生利用とか、これはKPI がつくりやすいものだと思うんですけど、この特にもう2点のところ、少し、そういう意味では、改善をする余地もあるのかなあと、もうこれ個人的な意見ですけども発言をさせていただきました。</p>
事務局	<p>今のKPIについては、施策にぶら下がる事業レベルで表現できればと思います。</p> <p>生活環境の部分難しいところで、KPI を設定してそれが結果に直結するようなKSF みたいなのところも、なかなか設定が難しいと思うので、そこについては、悩ましいところなんです。</p> <p>ただ今ご説明した行動計画の中で、どこまでうまくそういうところが表現できるかっていうところは、ちょっと課題とは思っています。</p> <p>今ちょっと、作っているところで何か表現できれば、加えたいなと思っているところです。はっきりしたことが申しあげられず申し訳ないです。</p>
環境計画課長	<p>今申し上げたように、委員がおっしゃる通り、KPI・KGI 必ずしもすべてが合致するのではないです。</p> <p>策定中と今申し上げました行動計画で評価項目として掲げるKPI がうまく適切なものを設定するようにちょっと心がけていきたいなというふうに思っております。</p>

	<p>あと、駅前のごみの関係も、コロナ禍あけで外国人の方もたくさんいらっしゃるので、十分に認識しております。</p> <p>外国人の方に、様々な国籍の方がいらっしゃるので、日本語だけでなく、様々な言語まで啓発しているところではありますが、一瞬にして解決するってなかなか難しい課題ではありますが、必ずついてまわる課題であり、少しでも良い方向にとは十分認識しておりますので、また多国籍の関係の所管する部署ともしっかり連携しながら、地域の方にもご意見いただきながらですね、長い課題ではありますが、少しでも改善できるようにしっかりと努めていきたい。</p>
<p>奥会長</p>	<p>他いかがでしょうか</p> <p>坂野委員どうぞ。</p>
<p>坂野委員</p>	<p>KPI の指標のところです。</p> <p>KPI・KGI の言葉が流行っていて経緯もあんまりはっきりしないまま使われているところがあって、難しいところがあるなどいつも KPI・KGI の話をするたびに思います。</p> <p>整理するとき、整理しやすいほうから考えると、多分実事業の実施量というのが、例えば補助事業ですとか、講座とかイベントとかってというのは、実物のカウントができる。そんなに行政の仕事って、そんなに種類が多くないので、そこはカウントする講座の回数や参加人数とか、促進事業であればどのくらい補助事業で政策に合った申請数があったとかって実数でとらえられるのでそれが活動量で、まずは活動量を全部そろえ、その活動量が目標と比べて、実質うまくいっているか、評価できるのか。</p> <p>その上で、そのロジックモデル的に考えると、活動量があったときに、その活動したことによって、目標として、ターゲットの状態がどう変わるかっていうのは、ロジックモデル的には、アウトカムしているんだと思う。行動変容は多分比較的わかりやすく、こういう行動変容してもらって何人いたか実際に計測できるか別ですけど比較的やりやすい。</p> <p>まずは実績を、活動量のレベルで評価することはできるわけで、その上で、そのアウトカムの部分に、できるものとできないものがあるので、できないものについては、ブランクでもしょうがないので、そういう整理の仕方をしていくと、ある程度はできるのではないかと思います。</p> <p>もう1つは、初めて聞いたので、計画の事後評価の話と、計画案の2次元評価で事業のポジショニングする話について、これってポイント数で、総合点をつけること自体に反対はないんですけども。</p> <p>でもこれ点数が低いものだったら計画段階でスクリーニングされるからあげないといけませんよね。</p> <p>なので、基本的にはポイントが高いものしかないことになる。</p> <p>ここが望ましいとかって言い方をしているんだけど、あんまり、そういう分析の仕方の意味があるのかちょっと理解できなかった。</p> <p>むしろ意味があるとする、総合化せずに、計画段階で多次元評価するときに、トレードアップする項目があって、例えば新規性、実行率みたいなのは、トレードオフするん</p>

	<p>です。</p> <p>だとすると、その多次元の方でポジショニングしておいて、すべての事業を、実行率が高いんだけど新規性が低いようにしないで、ある程度その新規性が高くて実行率が低いものを、やっていこうっていうような、なんかその事業の計画段階の参考にするのであれば意味があるような気がするんですけど。</p> <p>そうじゃないので。ポジショニングすることに意味があるのかちょっと理解できなかったんですけど。</p> <p>あともう1つは、新しい試みなので、トライ&エラーして見て、改善していけばいいと思うので、ちょっと私は、今、気になったところです。</p> <p>もう1つは多次元評価を計画の事前段階だけじゃなくて、事後段階だってできます。例えば、目標として、何ていうか、顧客層っていうクライアントっていうのに本当にターゲットがあって、正しかったかどうか、或いはそこにうまく、到達できたかどうか。自体は評価できるので、計画段階の事前じゃなくて、事後段階でそれぞれの項目で評価することもできるかと。</p> <p>それは何がよかったか悪かったに繋がって、やる意味があると思うんですがこれだけ細かいと、本当に細かい点についてはやるのは大変だろうと思う。</p> <p>現実はどういうことができるか、ちょっと今、具体的なイメージがあったらなんですけれども、あとは実行段階でいろいろ修正していけばいいなと思います。</p> <p>以上です。</p>
<p>奥会長</p>	<p>最初のご指摘は、確かにキーパフォーマンスインジケータと聞いて何なのかっていうこともありますけど、先ほどの資料のご説明ですとやはり活動量、事務事業ごとに、活動量をしっかりと把握していこうということなので、そういう整理でやっていただいて、その先にアウトカムに繋がっているかどうかということ判断する際には、先ほど千葉委員がおっしゃったようになかなかその判断が難しいときに普及啓発のようなものは、どれだけ実効性が上がったかを定量的に評価するのは難しい部分がある。</p> <p>ただそこをちょっと切り分けて、ちゃんと整理しましょうというお話だと思うので、ご指摘の通りだと思います。</p> <p>あと2番目の計画面での評価については、もう一度クリアに説明していただいたほうがいいと思うのですが、計画段階で評価するのではなくて、今後、実際にやりながら評価していこうということかと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>事業はこれから、作り直すわけではないので現段階で、こういうつくりになっているなどという評価をしてチェックでつけるだけですけど、誤解していただきたくないのは、先ほどの点の分布です。いろんな事業あります。</p> <p>区役所はいろいろやっているんで、もちろん事業設計がまだそういう点数がつけられなくて、左側に張り付いている事業も当然あるわけです。</p> <p>先ほどの視点だとあまり右側に行く事業はあんまりないです。</p> <p>実を言うと、試しにつけてみたのですが、そこを改善というメッセージです。</p>

	<p>それでいいですよとか、これ意味ないよとか、今こうですよね。</p> <p>だったら、もう少し事業面で、いろいろ項目をつけていますけれど、これにチェックがつくように、工夫していきましょう。</p> <p>事業設計を少し考えていきましょう。</p> <p>見直していきましょうという意味です。</p> <p>実行面についても、1回クリアすればいいという話ではなくて、いろいろ状況も変わってくるので、その事業のKPIについても、時代によって少し年によって変わってくるかもしれない、そこはある程度ファジーに考えて、この全体の動きを見て、こうしていきましょうというやつなので、この結果で、「B」、「C」、「D」とか、これまじいよみたいな話ではなくて、改善を考えるための1つの例ですね。</p> <p>そこはちょっと誤解していただきたくないと思います。</p>
<p>奥会長</p>	<p>非常に新しい試みで他の自治体でもこんな形の評価をやっているところはないので、なかなかちょっとうまくいくかどうか、そういった動機づけに本当に繋がるかどうか、評価づくりに追われないかとかですね。</p> <p>懸念するところは、なきにしもあらずですけども先ほど坂野委員がおっしゃったように、トライアンドエラーで走りながら改善をしていくというようなことで新たな試みをやっていただいて、また、来年度以降、委員の皆様にも見ていただいて、いろいろご意見いただく中で、改善が図れればと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>他はいかがでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ、小山委員。</p>
<p>小山委員</p>	<p>千葉委員がお話したように、私、蒲田東地区のものですけども、19自治町会ございまして、前はあまり清掃っていうのは頭に置かなかったですけど、ほとんど町会が、ひと月のうちに1回ぐらいは出て、清掃しているような状態でございます。</p> <p>私の自治町会も、第3日曜日に大体40名ぐらいの会員で30年間に渡って清掃して下さっています。</p> <p>ところが残念なことに今少々緑を少なくしたのは、花壇とかあるとみんなそこにごみを捨てちゃうんですね。</p> <p>それをいちいちとるのが本当に大変なんです。</p> <p>それでそのままほっとくと、さらにまた増えるということで、各町会が苦勞しています。</p> <p>また、東口商店街ですが、水曜日に会員でお掃除していますけども、もう終わると同時に、ごみがまたたまるというような商店街でございますので、そういうところで大分皆さん苦勞なさっていますけど、本当でしたら、駅前ですので、綺麗な花壇を置いて、皆さんが見て、すてきな蒲田駅だなどと思ってもらえる駅前にしたいんですけども、残念です。</p> <p>この頃たばこの吸い殻って少なくなりましたけどまだまだあり、それをどうにかならないのかなっていうのが町会の1つの、課題でございますね。</p>

	<p>捨てるということ、捨てられるっていうこと。</p> <p>それからあと民泊が、東地区はすごく多いんですよ。</p> <p>最初、民泊が出るにあたっては、各町会の喧々囂々の会議を開いて、どうしたらいいんだろうと言ったんですけども、今は事業者がご自分たちのごみの箱をちゃんと置いてくださって、それで事業所のごみとして取りに来てくださるので、民泊としては本当に落ち着いていますということで最初に出たときにはもう本当大変だったんですけど。</p> <p>やはり、慣れたかげんか、来てくださる方も、いろいろと考えて行動して下さっていますので、そういうところは安心しております。町会の話させていただきましたありがとうございます。</p>
奥会長	<p>他にご意見ありますでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ、青山委員。</p>
青山委員	<p>事業設計の評価を、この加点式するとか、実績を分布で評価するという両面の評価は効率的に事業を評価できるのはいいと思いました。あと、それを踏まえてこれを、次の年にどうやっていけばいいかっていうのを考えるときに、もう一段階整理が必要かなと思ひまして、最終的にはやっぱりソートといいますかビジュアル化した後に、その点数ごとに例えば実績のほうを見直していきたいとですが、縦軸が低いところを見直していきたいというときには、例えば横軸が高い方の計画が重要な計画ごとにソートして行って、実績が低いところの計画を重点的にやっていくみたいな、何かこうこのビジュアルだけではなくてもう一段階のところの整理が必要なのかなとすでに考えられているかもしれませんが、区民としてもわかりやすいかなと思ひました</p>
事務局	<p>もう一段階先のということなんですけど、今帳票上というか、資料上は点でしか表現してないんですけど、実はこれあとエクセルでやって、すべて、点数を入れて実績入れれば点がでるようになっています。</p> <p>次、何の事業がこの点と視覚化ができていますので、そこがだめなんだよ。</p> <p>一方的な、もちろん、1回に実績がある程度あるんだけどもいかに左側によっているという事業設計上ちょっとどうなのっていう事業もあるかもしれないです。</p> <p>事情があって、全体で考えてください。</p> <p>取り組みの方向性施策の中で考えてこれあるんだけど、こっちも頑張ろうね。</p> <p>あるいはこっちあるんだけどちょっとやり方変えてこっち内容でというふうな、そういう具体的な話ができるか。</p> <p>1つ、視覚化すれば、それは実際こう、今年度の実績来年度の夏それを見ていただいてどういう話が出るか。</p> <p>それは、それも、予算の次の予算を考えながら議論していく。</p> <p>イメージです</p>
奥会長	<p>他にいかがでしょうか。オンラインの委員の方。よろしいでしょうか。</p>
志々目副会長	<p>なかなかチャレンジングな指標をつくられて、先ほど奥会長も言われましたように、私も初めて見るような内容です。これはチャレンジしているということは良いことじゃ</p>

	<p>ないかと思えます。</p> <p>ただし、先ほど坂野委員もおっしゃっていましたが、特に計画の横軸のところの評価は、様々な指標で点数がつくようです。</p> <p>これは大田区の中で各事業の横並びでいろいろ調整するとき大変なんじゃないかなと思いました。</p> <p>このため、少し運用しながら考えていくことが重要だと思います。</p> <p>もう1つ重要なポイントとしてこの2次元グラフの中に、ポイントが分散的に示されることはこれでいいと思いますが、やはり行政はプライオリティを見なえればいけないと思えます。先ほど小山委員がおっしゃったような肌感覚で本当に重要だというところは、この審議会の中で、点数とは別に少しその辺を最終評価していくような、ちょっとハイブリッド的な考え方が大切かと思えます。基礎自治体としての計画でありますので、そういう運用の仕方も少し配慮すると良いのではないかと思ったところあります。以上であります。</p>
事務局	<p>プライオリティについて。</p> <p>もちろんその事業設計の評価の中に例えば地域性とか、そういう項目を入れて、自治体としてこれは必ずあつくりたいというところは、そこに欠け数をかければ、それが多くなりますので、その事業は当然右側に行くのでというところで、プライオリティというところでは、もちろん別だしというのがありますけれど、一応この中で、図の中で、ある程度表現想定でございます。</p>
環境計画課長	<p>皆様のご意見まさにおっしゃる通りでございます。先ほど冒頭から事務局のほうからの説明の通りですが、今までの、審議会での「A」とか「B」とか「C」で、どうしても「B」に固まってしまうとか、そういうふうになると、せっかく評価しているんですが、評価の目的とは何だったんだ。</p> <p>ということで無難なほうにいつてしまうというところがやっぱ我々いかなものというのがありましたので、そうしたところで今、志々目先生がおっしゃる通りでチャレンジングで、その一方で、先ほど千葉委員と小山委員からもございました通り、なかなかKPIとか経済になかなかそうはない、まだ今ないところもあるも生じてございますので、そういったところで、まさに志々目先生からお話いただいた通り、ハイブリッドな部分も要素として含めますし、トライアンドエラーとして修正しながら進めていきたいところもございますので、今後チャレンジングで進めていきますが、柔軟な姿勢も持ちながらですね、主要な表し方については、今まで通りの画一的な認識ではなくっていうところがもともとの考えの根本でございますので、少し、毎年やっていくものでございますから、修正も兼ねていきながら、進めていきたいという考えでございます。</p>
奥会長	<p>次第の3その他になります。</p> <p>こちら答申案についてですね、本審議会は令和6年8月16日付で大田区長から、区長の附属機関として諮問を受けております。</p> <p>令和6年度の審議会内容を踏まえまして、区長への答申案、ということで資料3のほうに、案を示させていただきます。</p>

	<p>こちら、事務局でちょっと読み上げていただきたいと思いますのでよろしくお願いたします</p>
<p>【次第 3 その他】答申（案）について</p>	
<p>環境計画課長</p>	<p>今会長からお話いただきました通り、私のほうで読み上げさせていただいて、皆様お聞きいただきながら文言の確認をしていただければ幸いです。</p> <p>書面の通り、大田区環境審議会の奥会長名で、区長附属機関として諮問を受けたということでの鈴木部長宛に今回答申をさせていただきます。</p> <p>会長にご確認いただいておりますが委員の皆様にも改めてご確認いただければ幸いです。</p> <p>表題のところはご覧の通り大田区環境基本計画の進捗状況についての調査審議等について、答申でございます。</p> <p>令和6年8月16日付け、6環計発第10461号により、大田区環境審議会に対して諮問された。</p> <p>1つ目の案内ですね。</p> <p>第2次環境基本計画の策定についての調査審議。</p> <p>2つ目としまして、大田区環境基本計画の進捗状況についての調査審議、最後に、3つ目といたしまして、その他、環境の保全に関する基本事項についての調査審議、について、下記の通り答申しますというものでございます。</p> <p>記書き以下のところを順にゆっくり申し上げます。</p> <p>まず、項番1つ目の第2次大田区環境基本計画の策定についての調査審議については、令和5年度に策定した(仮称)第2次環境基本計画骨子案や大田区環境アクションプランにおける進捗状況及び、社会情勢の変化を踏まえた調査審議の結果を反映した別添、(仮称)第2次大田区環境基本計画素案について審議し、第2次環境基本計画として策定することが適当であるとの結論に至ったという内容でございます。</p> <p>続いて項番2、大田区環境基本計画の進捗状況についての調査審議については、令和4年度からの3ヶ年を計画期間として策定された大田区環境アクションプランの進捗状況について、大田区の環境令和5年度実績報告に基づき、確認し、審議した結果、概ね計画通りに進捗しているものと認められる。</p> <p>引き続き、PDCAサイクルによる進行管理を行うことを通じて、取り組みを着実に推進するとともに、計画へ継承して、継続的な改善に努められたい。</p> <p>というものでございます。</p> <p>最後に項番3の内容、その他、環境の保全に関する、基礎的事項についての調査審議については、特に、(仮称)第2次大田区環境基本計画の策定後において、同計画の記載内容の周知を十分に図り、区民、事業者の理解と協力をえながら、環境配慮に向けた行動変容につなげていくことの必要性を確認した。</p> <p>今後、環境の保全に関する施策や取り組みを展開していくにあたり、区民事業者等のあらゆる主体との連携強化を引き続き図っていくとともに、国内外の社会情勢の変化を踏まえて、適宜適切に対応されたいというものでございます。</p>

	事務局からは以上です。
奥会長	<p>ただいま、答申案を読み上げていただきました。</p> <p>こちらの内容につきまして、いかがでしょうか。</p> <p>特に1については先ほどご審議いただきましたとき、特にこの計画案についてですね、これから若干修正が入りますけれども、基本的にこれで策定をしていただくということで、それが適当であるということを1では書いてございます。</p> <p>2について、令和5年度の実績を確認して概ね順調であるというふうには、出したので引き続きPDCAをまわして次の計画になったときに、継続的に改善を図るべく、取り組みを続けていっていただきたい旨ですね。</p> <p>3は、これは、環境基本計画策定後の話でして周知を図っていくとともに、これパートナーシップの話が出ましたけれども、しっかりと行動変容に繋がるような取り組みをお願いするというところでまとめてございます。</p> <p>この内容でいかがでしょうか。</p> <p>表現なども含めて、何かお気づきの点ございましたらお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>(一同、承認)</p> <p>特に修正は不要ということであれば、それではこちらの内容で区長への答申とさせていただきます。</p> <p>細かな表現など再度チェックした後、事務局と調整の上で内容を確定させたいと思います。</p> <p>なお、確定した答申書につきましては、事務局にお預けし、事務局より区長へお渡し頂くようにいたします。</p>
● 【次第 4】 閉会	
環境計画課長	<p>皆様、本日はお忙しい中、ご審議いただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>また(仮称)第2次大田区環境基本計画の策定について、2年間にわたり、貴重なご意見をちょうだいいたしましたこと、この場をお借りして、改めてので、申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>なお、先ほど委員の皆様から、貴重なご意見ちょうだいしたことを受けまして、資料につきましては、改めて今月中にお届けをさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>そして来年度の審議会につきましては、令和7年4月以降、日程が固まり、確定いたしましたら、こちらも委員の皆様にお知らせをさせていただきますので、どうぞよろしく。</p> <p>以上をもちまして本日の審議会、閉会とさせていただきます。</p>